

広島県PTA連合会

県P連だより

No.30

広島県PTA連合会創立60周年記念式典並びに第39回広島県PTA研究大会ふくやま大会

—— スタッフでつくりあげた大会 ——

実行委員長 小森 密 寿

戦後復興に立ち上がった市民が、「花こそ人の心を和らげるもの」と平和の願いを込め、空き地にばらの苗を植えたことに端を発し、今日では、「ばらのまち福山」として発展を遂げています。さらに、ばらと同じように教育を誇りにできる「ばらと教育のまち」の実現をめざした取り組みを行っている福山市において、平成21年11月1日(日)広島県内各地より1,300名を超える会員皆様の参加をいただき、「広島県PTA連合会創立60周年記念式典 第39回広島県PTA研究大会ふくやま大会」が開催できましたことに、実行委員会を代表して深く感謝しお礼申し上げます。

大会に向けた実行委員会の立ち上げから約2年、長い時間をかけて多くの話し合いを重ね、準備してまいりました。会場の選定に始まり、大会スローガンの決定、講師の選定、アトラクションの選考、PRパンフレットの作成、あきたかた大会でのPRの内容等、総務担当・広報担当に分れ作業を始めました。しかし、2つの担当だけでは賅いきれず、委員会を重ねることに細分化し、最終的には、受付・接待・会場・舞台・駐車場・誘導にまで分けて協議を行い、実行委員・運営スタッフを合わせると、総勢380名を超える大所帯になっていました。

長いようで短かった準備期間の中で印象的な出来事と言えは、「あきたかた大会」にて、鞆の鯛網を題材にした寸劇で大会のPRを終えて『いよいよ来年か!』と気持ちを新たにしていたところ、いきなり問題発生。

大会会場の予約重複が判明し、当初予定していた日程の変更を余儀なくされました。

また、県教育委員会より「ひろしま教育の日」フォーラムを合同で開催してほしいとの相談を受け、打ち合わせ会が始まったのは平成20年のクリスマス、12月25日でした。

「記念式典」に「研究大会」そして「教育の日フォーラム」の合同開催と過去に開催された記録の無い大会に向けて、準備は手探りの状態

で進んでいきました。

実行委員会を開くほどに問題点や課題が見つかり、一つずつ解決していくという繰り返しの中で実行委員の連携が深まり、結束力が高まっていく姿は頼もしい限りでした。

スタッフマニュアルの作成も、その一助となっていました。会議での決定事項を書き込み全員で確認し合い、確認事項を積み上げる繰り返しです。そして、もともとも気を配って作成したものが、「お迎えする心得」でした。これは、当日スタッフとして関わる全員に、参加会員の皆様に満足いただける対応をしてもらうためのエチケットを書いたもので、全員がその心得を理解し対応してくれていたと感じていたのは、私だけでは無かったようです。

この大会に関わった会員が、学校の枠を超えて連帯意識を持ち、一致協力して大会を成し遂げた達成感と自信という成果を得たことは、何ものにもかえがたいものとしてひとりひとりの財産として残っていくものと思っております。

「大人が変われば、子どもも変わる」と言われます。未来を築く子どもたちが、夢と希望を持って、学び育つ街。その基盤となる生活環境や教育環境を整えることが出来るのは私たち保護者であり、先を歩く大人としての務めです。

「子どもたちの輝く未来のために、共に学び共に成長しよう」のスローガンのもと取り組みました研究大会において、今日的な課題への対応や取り組みについて情報発信できたものと考えております。

子どもの成長に親が関与するのは使命でも義務でもあるとともに、大きな楽しみでもあります。この大会が、子どもの成長を願う親の手助けとなり、PTA活動の一助になれば幸いです。最後になりましたが、本大会を開催するにあたり関係者の皆様のご尽力に感謝するとともに、心よりお礼申し上げます。



60周年記念表彰式の様子



開会行事で挨拶をする竹本会長

第39回日本PTA中国ブロック研究大会島根県松江大会

日時 平成21年11月7日(土)
会場 くにびきメッセ/島根県立産業交流会館

広島県PTA連合会 理事 中村直美

「日本人として、かく生きたい」
〜手間ひまに心の豊かさを〜

このような、演題で共立女子大学名誉教授の木村治美先生の講演が、松江・くにびきメッセで行われました。

今、子育てをする中で、「生きる力」「豊かな心」といわれていますが、がんばる理由を見出せないこの世の中、夢はかなうもの、努力すればかなうものと言う時代から、あまり努力しなくても、大学に入学できたり、努力しても、就職することが難しい時代に、「生きる力」に何を求めたらいいのでしょうか。というお話から始まりました。

「手間ひまをかけた時代」から「スイッチ一つで出来る時代」に変わっていった中で、得たものは、自由な時間を得たこと、楽になったこと。失ったものは、知恵を使わなくなったこと、心をこめることが少なくなってきたこと、心をとめることでした。

私の小さいころも、祖母の家では、たらいで洗濯をし、薪でお風呂を沸かし、くどでご飯を炊き、季節によっては、母が布団をうちかえ、ゆかたを仕立ててくれ、着物の洗い張りなどと、家族のことで手間ひまをかけていた様子を今は見るのが、なくなっています。

このような時代の中で、「手作りに価値をもつ世代」と「手作りに価値を持たない世代」に分かれるのは、「子どもが、親を感じとる場」・「子どもが心をくみとる場」が少なくなってきた中で、子育てをしているのではないのでしょうか。と、お話されました。

機械文明は、手間ひまを省くことを、目的としています。手間ひまを掛けることで得られることは、たくさんあるとのことでした。

先生の言われる、「心をこめる」「心を渡す」「心を見つめる」など、これらは、子育てをしていく上で、便利さとともに、失くしてはいけない大切なものだと改めて、教えていただきました。

日本人としてのよいところは、個々も大事にし、集団としての調和を持てることだとお話されました。先生曰く、「納豆になつてほしい」

つまり、一人一人はちゃんと形と存在し、かかわることでもまとまっていける関係づくりが、大切ということでした。

個を大切にし、人と人のかかわりのなかで、心をこめ、心を渡し、心を見つめる中で「人の役に立つ人間になりたいと思う心を育てる」ことが、「生きる力」に求めるものであることだと教わったように思います。

昔のように、祖父母や、両親がしてくれたことが、今は出来なくなってきた現実があります。そのなかで、時代の便利さだけで流されるばかりでなく、問題意識をもつことで失ったものを、補いながら、子どもたちに、親を感じとる場を増やしていくこと、子どもたちが、心をくみとる場を増やしていくことの大切さを感じました。そのためには、私達一人一人が、関わりを持つ中で「手間ひまをかけること」の大切さを教わった講演でした。最後に、先生がお話になった言葉を忘れずにいきたいものです。

「手塩にかける子育て」を・・・

《ミルクライス》

【材料】(2人分)

- ① ご飯…150g
- ロースハム…4枚
- ミックスベジタブル(冷凍)…100g
- 牛乳…300cc
- 固形スープの素…1/2個
- バター…10g

ピザ用チーズ…60g

塩・こしょう…各少々

【作り方】

- ① ハムは7ミリ角に切る。ミックスベジタブルは熱湯をかけて解凍。
 - ② フライパンに①を入れ火にかける。煮立ったら弱火にし、汁気がなくなるまで10～15分位煮る。
 - ③ 塩・こしょうで調味し、チーズの半量を加えて混ぜる。表面に残りのチーズを乗せふたをしてチーズが溶けるまで蒸し焼きにする。
- ☆ ドリアみたいです。ハムを鶏肉にかえれば夕食でもOK!



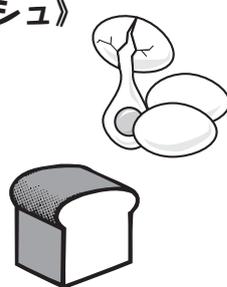
《クロックムッシュ》

【材料】(2人分)

- 食パン(12枚切り)…4枚
- 卵…1個
- ハム…4枚
- トマト(輪切り)…2枚
- スライスチーズ(溶けるタイプ)…2枚
- 牛乳…1/2カップ
- マヨネーズ…大さじ1
- 塩・こしょう・サラダ油…各適量

【作り方】

- ① バットに卵をときほぐし、牛乳、塩・こしょう各少々を加えて混ぜる。食パンを入れて、返ししながら両面に卵液をしみこませる。
- ② 食パンを2枚1組にして、ハム、トマト、マヨネーズを等分にはさむ。
- ③ フライパンにサラダ油少々を弱めの中火で熱し、②を片面2～3分ずつ、両面をこんがりとするまで焼く。食べやすく切って器に盛る。



平成二十一年度 全小・中学校PTA母親代表研修会

広島県PTA連合会 母親代表 花満美和

平成21年12月12日(土) 東広島市黒瀬町黒瀬文化センターにおいて、「親と子のしあわせ」をテーマに開催された広島県PTA連合会主催「全小・中学校PTA母親代表研修会」には、県内小・中学校あわせて434名の郡市の母親代表役員が参加いたしました。

基調講演では、ひろしま子どもの読書活動団体等ネットワーク協議会代表幹事 吉川五百枝先生に「かわり生きる〜読書活動の実践をおして〜」と題してご講演頂き、元広島県PTA連合会理事北川美幸様にアシスタントとして実践発表をいただきました。

今回の講演では、実践発表を軸に良い人間関係を築くための大切なことを学ばせていただきました。最も気づきをもたらされたのは、どんな環境で生きていても繋がりを断ち切って生きてはいけないことや深い絆で結ばれたいと願う相手に対して耳を傾け、お互いの意志を通わせ傾聴の意味の大切さを身をもって教えられた気持ちになりました。

その場の自分の気持ちを表現するというのは大変難しく、自分の気持ちに気づき続ける習慣、勇気を出し

て伝える習慣、まず相手の言い分を聴く習慣、「これから絶対自分のものにする!」という強い決心をして講演を終え、自分自身にもテーマが与えられました。先生が私たちに講演くださいました「かわり生きること」とは、「共感し、命を輝かせること」と実感いたしました。

講演会終了後は分科会場に移し、「子どもの心を知っていますか」のテーマで9分科会に分かれグループディスカッション方式で開催されました。参加型の研修会は自分の意見が反映されやすく、子育ての長所に気づいたり、これからの子育てに何が必要かを考え、参加者との意見交換をおして、これからの子育てについて学ぶことができます。

また、いろいろな価値観を持つ人と知り合い、学び合い、つながりを深めることができた研修会であったと思います。

全小・中学校PTA母親代表研修会に参加いただきました役員の皆様、スタッフの皆様、ご協力を心より感謝いたします。ありがとうございました。



講演される吉川先生



熱心に情報交換している分科会の様子



表彰式へ出席した受賞者

日本PTA年次表彰式

日時 平成21年11月18日(水)
場所 ホテルニューオータニ
(東京)

■文部科学大臣表彰(団体)

福山市立熊野小学校PTA
東広島市立竹仁小学校PTA
宮島小・中学校PTA

■(社)日本PTA全国協議会 会長表彰

(団体)
山県郡PTA連合会
安芸高田市PTA連合会

■(社)日本PTA全国協議会 会長表彰

(個人)
高橋 一昭 池田 淳二
近藤 忠久 西山美智子

鐘

広島県PTA連合

会創立60周年おめでとうございます。私の人生よりも更に長いわけで、この間に一体どれ程の役員さん

が係ってこられたのでしょうか。私は三年間でした。小さな郡市のPTAしか知らなかった私には、とても元気がな方々を目の前にして、驚きと感動とともに、自分の力不足に自信をなくしたり、最初の一年で4キロも痩せたほどです。

皆さん、子どもの色々な事件や事故に心を痛めつつ、子どもたちを守り、育てていくための努力を惜しむことなく、篤き心をもって臨まれていました。

子どもたちの笑顔を見るために！と豪語した会長さんであれば、あなたの生きる未来を、私達が諦めるわけにはいかない！と、少年漫画のひとコマから子育てを語る役員さん

もいて、素直に感動もしました。ここでの出会いと経験は、私をチヨッとだけ大きくしてくれました。子どもを育てていたつもりが、実は育てられていたんですね。洪々受けたクラス役員が始まりですが、あの時やってよかったと思っ

ています。わが子が成人した今では、地域のおばさんとして、子どもたちに係らせてもらい、結構楽しい毎日を過ごしています。

今後も、県P連の活動が実り多いものでありますように願っています。

福

編集後記

昨年は季節を問わずインフルエンザが猛威をふるい、いつになく心配の多い毎日でした。

そんな中、秋から冬の行事をどれも無事に終了することができ、安心していきます。

9月の全小・中学校PTA会長研修会で、各学校の会長さんが顔を合わせ、10月の県大会ふくやま大会では、金田一秀穂先生の楽しい講演に笑わせていただきました。その後、11月の中国ブロック大会島根県松江大会と続き、12月は全小・中学校PTA母親代表研修会を開催しました。

私も縁あって、理事としていろいろな活動をさせていただき、大変な反面、大きなやりがいも感じています。役員だからできることも多く、今まで全く知らなかった経験もさせていただきました。何より人との出会いがあり、仲間が増えたことが一番の宝であり、本当にやって良かったと思いますし、名残惜しさも感じる今日この頃です。

今年度の活動もラストスパートです。私も役員を通して「得たもの」だけでなく、「何か残せるもの」があればいいなと考えています。ますます体調管理に気をつけて、楽しく、充実した活動をして、来年度につなげていきたいです。

広島県PTA連合会 理事 近藤 千晶

充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを壊したり、他人にケガをさせてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ(職場体験)やアルバイトに起因する賠償責任も対象となります。

●授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生するケガや病気*の補償

*病气入院補償はWプランのみ対象です。



●団体割引適用で割安な保険料!

(注)動産総合保険(携行品一式特約付帯)には、団体割引による割引は適用しません。
スクールメディカルデスク24でお子様の健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・身の回り品などの補償
●育英費用等

充実の補償でお子様をサポートします。 広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度はこども総合保険・動産総合保険(携行品一式特約付帯・学校管理下中のみ担保)のペットネームです。この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。
平成20年9月作成 募文No 4140-08-032



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問い合わせ先・取扱代理店: (株)東海日動パートナーズ広島 TEL: 0120-018-217



ニッセイ同和損害保険株式会社



三井住友海上火災保険株式会社